## 会 議 録

会議の名称	   令和6年度(2024年度) 第2回 枚方市	男女共同参画推進審議会
開催日時	令和7年(2025年)3月27日(木)	13 時 00 分から 14 時 47 分まで
開催場所	第3委員会室(Web 会議併用)	
出席者	松田会長、内藤副会長、武田委員、玉野委 迫間委員、三木委員、三和委員、山本委員	
欠席者	今森委員	
案 件 名	1. 第4次枚方市男女共同参画計画の構成 2. 第4次枚方市男女共同参画計画の策定 参画に関する市民アンケート調査及び第3. その他	定にかかる基礎資料(男女共同
提出された資料等の名称	次第 資料1 第4次枚方市男女共同参問 資料2 男女共同参画に関する市民 ついて 資料3 令和6年度男女共同参画に 結果報告書 資料4 第3次枚方市男女共同参 度)について 参考資料1 枚方市男女共同参画的 参考資料2 枚方市男女共同参画的 参考資料3 枚方市男女共同参画的 参考資料3 枚方市男女共同参画的 参考資料3 枚方市男女共同参画的	スアンケート調査結果に こ関する市民アンケート 画計画総括(R3~6年 推進審議会委員名簿 推進審議会規則
決 定 事 項	・追加意見があれば、3月31日(月)までした。	に事務局に提出することを確認
会議の公開、非公開の 別及び非公開の理由	公開	
会議録の公表、非公表 の別及び非公表の理由	公表	
傍聴者の数	0人	
所管部署 (事務局)	市長公室 人権政策課	

	審議内容
発言者	発 言 の 要 旨
松田会長	それでは、定刻になりましたので令和6年度第2回枚方市男女共同参画推進審議会を開催します。 委員の皆様におかれましては、公私御多忙の折、御出席いただきましてありが とうございます。 では、まず初めに事務局から委員の出席状況などについて御報告をお願いしま す。
事務局	本日の出席委員は9名で定足数に達しておりますので、この審議会が成立していることを御報告いたします。 なお、枚方人権まちづくり協会の今森委員は御都合により、御欠席という御連絡をいただいております。 なお、本日の傍聴者はございません。 それでは、開会にあたりまして、市長公室長の野田から御挨拶させていただきます。
野田室長	<挨拶>
事務局	続きまして、本日出席しております事務局の紹介をさせていただきます。
事務局	<順次挨拶>
松田会長	では、審議に入りたいと思います。 まず、案件1「第4次枚方市男女共同参画計画の構成等について」を議題とします。 事務局から説明をお願いしたいと思います。
事務局	まず、説明に入ります前に、本日の会議資料を確認させていただきます。 委員の皆様には、事前にメールと郵送にてお送りさせていただいております。 資料1、第4次枚方市男女共同参画計画の構成等について 資料2、男女共同参画に関する市民アンケート調査結果について 資料3、令和6年度男女共同参画に関する市民アンケート結果報告書 資料4、第3次枚方市男女共同参画計画総括(令和3年~6年度)について 本日、追加でA4の資料1枚を配付させていただいております。メールで直前 にお送りさせていただきましたが、御確認いただいておりますでしょうか。
内藤副会長	届いております。
事務局	ありがとうございます。 それでは、案件1の説明をさせていただきます。 <資料1について説明>
松田会長	どうもありがとうございました。 枚方市の男女共同参画計画が、今、第3次から第4次に移行しようとする節目 を迎えていて、特にその計画案がこれまで目標が5本であったのを3本にまとめ ているというところのお話だったかと思います。

	この件に関しまして、御意見などがあればお願いしたいと思いますが、いかが
	でしょうか。
	個人的には目標を3つにするというのは、すっきりしていいんじゃないかなと
	いうふうな印象を受けました。実際に振り分けていく作業は大変な作業になった
	と思いますけれども。
	今の近隣3市を見ると、同じような形で3つの目標ということで、順番や文言
	は多少違ったりしますが、似たようなところかなという気はしました。
	いかがでしょうか。
内藤副会長	3つに集約されるということで、基本目標2と4は取組が重複しているので整
	理されるのはいいことだと思いました。基本目標3がどのように区別されるのか
	は、資料を見ているだけではよく分からないです。また、男女共同参画の推進と
	の区別については、例えば基本目標1に、男女共同参画の視点に立った施策展開
	というのがありますが、これは基本目標3の推進とどう違うのでしょうか。
松田会長	いかがでしょうか。基本目標1の施策展開と3のタイトルである共同参画の推
	進は、何か違いはあるのでしょうかという御質問ですけれども。
事務局	男女共同参画計画アクションプログラムの策定と、計画の内容の進行管理や、
	アクションプログラムの進捗状況の公表が男女共同参画の視点に立った施策展開
	で決めてある取組になりますが、あらゆる分野における男女共同参画の推進にな
	ると、もう少し市民の皆様に直接関わるような取組が入ってくるのかなと思って
	おります。基本目標1は、どちらかというと市で行うべきものをまとめて、元と
	なる計画やアクションプログラムをつくっていく作業が入ってくるというふうに
	考えおります。
内藤副会長	3つに整理するというのはいいと思いますが、それぞれの施策、それぞれの内
	容を実際に3つに振り分けると、何が1になるのか、何が3になるのか、混乱が
	生じないかということを聞きたいです。
松田会長	いかがでしょうか。
事務局	施策目標1が基盤的なもので、そこに乗ってくる取組が2、3として整理でき
	ると考えております。ですので、アクションプログラムで進捗管理をして、いろ
	んな施策が進行しているのかどうか、あるいは見直しをするものがあるのかとい
	う仕組みが1に上がってくる、そういった整理を行わせていただければというふ
	うに考えております。
内藤副会長	3 つに柱を立てても混乱することなく調整できるというのがあれば、その方向
	でもよいと思います。
松田会長	はい、分かりました。
	それでは、ほかにこの案件に関して。何か。
事務局	取組が重複しているところもございますので、整理をしていくことになるかな
	と思っております。
松田会長	はい、分かりました。
	ほかに、この案件に関して。

	この裏ですね、最後のページ、8ページ目の今後のスケジュールの中のタイト
	ル行の幹事会議と本部会議の説明をしていただけますでしょうか。
事務局	こちらは庁内会議になりまして、男女共同参画推進本部幹事会は全課の課長が
	集まった会議体で、本部会議のほうは市長を本部長とした理事と全部長が集まっ
	た会議体です。男女共同参画推進本部は全庁的な取組であるということから、全
	庁の部長及び各部の総務担当課長が構成員となっている会議となっております。
松田会長	分かりました。ありがとうございました。
	よろしければ、ここで一旦閉じさせていただいて、案件2に進みたいと思いま
	す。
	こちらは、「第4次枚方市男女共同参画計画の策定にかかる基礎資料につい
	て」を議題とします。
	まず、資料2ですね。男女共同参画に関する市民アンケート調査について、事
	務局から説明をお願いしたいと思います。
事務局	令和6年 11 月に実施しました男女共同参画に関する市民アンケート調査結果
	について、御報告いたします。
	<資料2について説明>
松田会長	どうもありがとうございました。
	質問を受け付けたいと思いますけれども、その前に 15 ページ、16 ページあた
	りの質問内容に関しまして、市民委員のおひとりである三木委員がインスタグラ
	ムのアンケート機能を使って、フォロワーの方たちにこの辺のことについて、ど
	れぐらいの認知度があるのかということを聞いていただいてるので、せっかくな
	のでどんなことをされたのかということと、どんな結果だったか、御感想、その
	3点をおっしゃっていただけますか。
三木委員	はい。私はこの枚方市で行われた若年層に聞かれたアンケートと同じ問いを、
	私のインスタグラムで3つの質問をさせていただきました。
	1つ目の質問がデートDVという言葉を聞いたことがありますかという質問
	で、選択肢が「意味まで知っている」、「聞いたことはあるが、意味は知らな
	い」、「知らない」の3択を設けました。
	2つ目に、ラインなどで居場所や何をしてるかしつこく聞いてくるや、無理や
	りキスをしてくるなどの行動を恋人にされたときに変だと思いますかという質問
	に対して、「変だと思う」、「思わない」という2択を設定しました。
	3つ目に、本人や身の周りの人でデートDVを受けたことがある人がいますか
	に対して、「ある」、「なし」の2択と、あると回答した人はそのときにどのよ
	うな対応をしたのかというのを言葉で書けるように質問ボックスを置きました。
	結果としては、デートDVという言葉を知っているかという問いに対して、ほ
	とんどの人が、8割近くの人が「知らない」という結果になりました。
	2つ目の質問、しつこく聞いてくるや、嫌がってることをしてくるに関して変
	だと思いますかという質問に関しては、1人を除いてほとんどの人が「変だと思
	う」という回答でした。
	身の周りの人でデートDVを受けたことがありますかという回答は、ほとんど

の人がなくて、1人だけ身の周りの人がデートDVを受けたことがあると回答し てくれて、その方は相談を受けたという答えだったのですけれど、相手の人は恋 人に対して精神的な依存をしているので、デートDVが駄目だと分かっていても 離れられないということがあって、相談をしてもあまり意味がなかったという結 果を受けました。 私の感想としては、私が今高校生で、3月までの高校2年生の授業の中で保健 の授業を受けていたのですが、その中でデートDVという言葉が出てくるのは、 教科書ではなくて資料集で、DVに関しての説明の末尾に、これが恋人間で行わ れたらデートDVになるという短い一文だけでした。私がいつも授業の時に取っ てるノートも、板書されたものではなく、私が先生の言葉を聞いて、これはポイ ントだなと思って個人的に書いたものしか残っていなかったので、授業でもあま り重要なものとして書かれていない、伝えられていないというのが、私の学校の 状況です。なので私の周りの子たちがあまり知らないというのは、教育の場でD Vはとても重要な言葉として教えてもらってはいるんですけれども、デートD V、恋人間での方はあまり重要な言葉としては説明されていないのかなという印 象でした。なので、あまり知らないとみんなが答えたのはそういう実情があるの かなと思いました。 松田会長 はい、どうもありがとうございます。 ちなみに、これは規模ですけれど、フォロワーさんが 40 名いたのですね。そ れで閲覧者が25名。25名は全部答えがあったということですね。 三木委員 はい。 はい、分かりました。ありがとうございます。 松田会長 市でやっていただいたアンケートは何千人単位の大きな数字のアンケートです けれども、そこからは掴めないような生の声を一部聞かせていただき、とてもよ かったと思います。すごくしっかりと発表していただきました。どうもありがと うございました。 何か、三木さんに御質問のある方いらっしゃったら。 感想。すごいなと思いました。デートDVという言葉を知らなくても、返信が 玉野委員 返ってこなかったらすごい怒るとか、どこにいる、誰といるということをしつこ く聞くことに変だなと感じているということは、健全だなとすごく思って、逆に 市のアンケートでの減少の仕方は何なのかと思いました。5年間でこんなに支配 的関わりを変だなと思う数が減っているというのは、三木さんがおっしゃるとお りの教育の現場できちんと伝えきれていないのだなというのをすごく思いまし た。なので三木さんの周りの方は、言葉としては資料集だけでは説明は足りない と思うのですけれども、感覚的なものとしては健全な関係を築けているのかなと いうふうに思いました。 その教育の話ですけれども、弁護士会は法教育ということで、学校から求めら れたら弁護士が派遣されて、デートDVは私も授業したことがあるんですけれど も、それは学校に委ねられてるというもので、管理職になりたいかの質問に対し て高校生の回答の半分が「分からない」というのも、結局のところそのモデルが

	いないからという感じもあるのかなと思います。進路で迷う頃なので、これだけ
	分からないという子もいるのかなと思ったんですけれども、やっぱり学校に委ねてなりないという子もいるのかなと思ったんですけれども、やっぱり学校に委ねてないと
	て求められたら行くだけではなく、もう少し統一的に教育の中に組み込んでいく
	という発想が今後必要だなとすごく思いました。 
松田会長	ロールモデルが見えるようにということですよね。なるほど。ありがとうござ
	いました。
	それでは、この案件ですが、このアンケートに関して、コメントなり御質問な
	り、おありの方いらっしゃいましたら、オンラインの方を含めてお願いしたいと
	思います。
	はい、どうぞ。
高尾委員	先に基本的な質問ですが、一般の回答者が17%で若干低いと思います。以前の
	調査のパーセントはどれぐらいだったのでしょうか。併せて、この調査回答が女
	性は60%以上回答しているのに対し、男性が半分しか回答してない。ここに問題
	があるのかなというふうに思います。若年層とか小中学生の回答では、男女半々
	で上がってきている。若年層は任意調査しているにもかかわらず、半分というこ
	とですが、一般の方々が非常に低い。男性が半分しか回答していない。一番の問
	題点がここにありそうな感じがしましたので、前回はどうだったかということを
	まずお聞かせいただきたい。また、全般の感想として、自由記述の部分で、見さ
	せていただいて、まだ分析ができてないのですが、やはり男性の書いている内容
	が「ちょっとずれているな」という印象がものすごくありました。やはり男女間
	の差っていうのか、特に男性の意識がまだまだ古い考えそのままという現状が、
	よくこのアンケートの中から出てきているのではないかなと思いますし、そこを
	どうしていくのかというところを一番強く感じました。
松田会長	回答率のこと、何かコメントありましたら。
事務局	前回の若年につきましては、市内の高校と大学のほうに依頼をさせていただき
	まして、それぞれ高校生 521 人、大学生 441 人から回答をいただきました。今
	回、若年は無作為抽出ということで、送った中で回答していただいた方が17%と
	いうことで、前回とは数え方が異なっているというところはあります。前回は
	500 ずつ配布させていただいて、ほとんどの方から御回答いただいたというよう
	な形です。
 松田会長	
	でとても低いのではないかと。前回と比べてどうだったんですかというような御
	指摘、御質問がありました。それに対して、前回はアンケートの調査の仕方が
	違っていて、高校と大学というくくりで、それぞれ 521 人、441 人という回答数
	が出ていたので、前回と今回とは一概に比べられないという御回答でした。
 事務局	前回調査の回答率なんですけれども、前回、5年前の一般の調査は回収率が
1.453773	41.4%でした。
 松田会長	前回は 41.4%ということで、あと、いかがでしょうか。
	山本さん、どうですか。
 川本委員	
 山本委員	感想みたいな。

松田会長	感想でも。はい、どうぞ。
山本委員	デートDVのところとかで、被害の方にすごい焦点が当たっている気がして、
	加害者のほうの意識でどういう感じでやってしまったのかというのも個人的には
	気になっています。被害者をケアするのも大事だと思うのですけれど、加害者の
	方たちにも何かできることがあるのではないのかなと思いました。
松田会長	はい、ありがとうございます。
	ほか、何か。アンケート関係はいかがでしょうか。
迫間委員	今のお答えと重ねる形なのですけれど、私、商工会議所でいろいろな企業の方
	のお話を聞く中で、企業道徳みたいなところで、ハラスメント関係で総務系の方
	がどうしたらいいか悩んでるという話も聞いたりします。私はまだ 40 代半ばぐ
	らいですけれども、同世代や他の企業さんのお話を聞いても、やはり我々の世代
	でも男尊女卑といいますか、男が仕事で、女性はあまり働かないようにして、と
	言っている方がまだ結構いるというお話も聞いています。そういうハラスメント
	関係の問題が起こった時に、やはり企業さんも被害者の方へのフォローやケアも
	もちろんするのですけれども、加害者の方をどうしたらいいかという点ですごく
	悩まれています。もちろん仕事は普通にされていて、加害者の方にも人権があっ
	て、その方をどういうふうにまた正常社会に戻していくのがいいのか。ハラスメ
	ントを公表して、この人はこんなことをやりました、この人は駄目ですよと罰す
	ることだけが正解なのか、どういうふうに更正させるのか悩んでおられる企業さ
	んも一定数おられるので、この男女共同参画の社会を作っていくという中で、非
	常に大事な視点なのかなと思いました。
松田会長	ありがとうございます。
	性犯罪に関しては、前々から再犯性が高いというのはよく言われていますの
	で、実際司法の場に行くようなケースでも、その後の対策というのは非常に難し
	いと思います。非常に難しいところではあると思いますが、我々も気にして、こ
	れから念頭に置いておけばいいかなという気がします。
玉野委員	加害者プログラムとか、DVの治療プログラムがあって、私が加害者の方を弁
	護する際に紹介して、治療を受けてもらうこともありますが、その存在を知らな
	い方が多いです。今おっしゃられたことはすごくいい視点だなと思っています。
	排除ではなくて治療や更生プログラムもあるのだということを周知して加害者と
	なって終わりではないことが誰もが安心して暮らせる社会かと思うので、すごく
	重要かなと思いました。
松田会長	ありがとうございます。
	確かに薬物とかね、アルコール依存症に関してはいろんなプログラムとか支援
	団体があるけれども、DVとか性犯罪に関してはそういう制度自体はまだ弱いの
	かなという印象はあります。
玉野委員	民間の団体がやっていたり、性犯罪はお医者さんが治療的なことをされたりは
	しているのですけれども、やはりDV加害者になるのも、成育歴も関係してると
	ころもあると思います。治療グループがあるかというのは、結局、最悪のところ
	に来てからようやく知るところもあると思うので、何か事前にそういう取り組み

	ができればいいなと思いました。
松田会長	あと、先だって玉野さんに御指摘いただいたところも関係するのでが、16 ペー
	   ジの言動が変だと思うかどうかという質問に対して、変だと思うという人がすご
	く減ってるということに関しては、事務局の仮説では、LINE を含めたソーシャル
	ネットワークとか、ネット上のツールが影響しているのではないかという1つの
	見解をいただきました。この辺り何か皆様、何か御見解、コメントありますで
	しょうか。
	どうぞ。三木さん。
三木委員	事務局がおっしゃった意見が高校生である私からしても、同じような感じなの
	かなと思っています。SNSの発展で、知らない人といつでも知り合えるように
	なったりしているので、そういうのがあるのかなと思います。
松田会長	なるほど。
三木委員	事務局の意見と同じです。
松田会長	ありがとうございます。
玉野委員	今、居場所を共有しますとか、あれも気持ち悪いなと思う。絶対知られたくな
	いと思う。
高尾委員	今、新聞やテレビを見ず、スマホやSNSだけを見るという世代にかなりなっ
	てきています。すごく社会が変化してきているけれども、学校教育にメディアリ
	テラシーがまだまだ少ない。すごく遅れているのでは。今のSNSの実態に合わ
	せたメディアリテラシー教育というのを、枚方ではどういうふうに取り組んでい
	くのかが非常に重要なことだと思います。
松田会長	おっしゃるとおりだと思います。
迫間委員	逆の意見になるかもしれないですけれど。周りでも最近は、我々よりも若い世
	代の人はマッチングアプリで出会って付き合うというのがものすごく多く、我々
	世代からは信じられない。そういうマッチング、SNSのいいところは、それぞ
	れの恋愛観みたいなところが、自分の置かれている立場、仕事を共有した上で
	マッチングできるので、逆にうまく使えば、こういうデートDVに関しても、お
	互いが幸せだったら問題にならなかったりするのかなと思います。事前にすり合
	わせしていくという意味で、上手に使う、いいものは取り入れて、そこで出てく
	る問題に関してはできるだけ起こらないように、人権の観点から整理していくと
	いうやり方で。 
松田会長	はい、ありがとうございます。大学教育でもAIとどう付き合うかが問題になる。
	るわけで、下手すると盗作に使われてしまうと問題ですが、積極的に上手に使う
	やり方というのをみんなで考えていけるように教育が展開できればなという気は
	しております。   −   −   −   −   −   −   −   −   −   −
	一つのとこの何が刊り加えたいよりなことはないとしょうか。負向とも構いませんし、アンケート関係ですね。
 三和委員	んし、ブンケード関係です44。 
一种安良 	するしゃなくともいいとすか。   はい、どうぞ。
心川云文	vav 、 C / Co

 三和委員	前回の会議の時にインセンティブというか、回答していただいた方に何か謝礼
	的なもの、プレゼント的なものを導入されるという話をされていたかなと思うの
	ですけども。
   松田会長	とうひと 0。   どうでしょう。
事務局	
4-1/J/HJ	告させていただいたように、残念ながら前回よりも減ってるというところです
	ね。前回は紙媒体で全部送らせていただきまして、今回はウェブの回答もできる
	ようにさせていただきました。ウェブは答えやすい反面、答えずに置かれる確率
	もあるのかなと思っておりまして、インセンティブの効果は今の段階では少ない
	もあるのがなど心のでおりまして、インピンティブの効果はすの段階では少ない。
	<u> </u>
三和委員	ありがとうございます。基本インセンティブを設けたけれども、ウェブと紙と
	両方やったこととも相まって、インセンティブ自体の効果がはっきりと得られた
	形ではないという感じですか。   r
事務局 	そうです。 
三和委員	分かりました。 
松田会長	他はいかがでしょうかね。
	はい、どうぞ。 
高尾委員	自由記述の中で、一般で 142 ページと若年の 209 ページに、そもそも『男女共
	同参画社会』という言葉について疑問を投げかけている部分があります。人権も
	含めて、この男女共同参画という課題を教育もしくは啓発をしていく中で、『男
	女共同参画社会』ではなかなか伝わりにくいと思います。このような会合で、
	『男女共同参画社会』というのはいいと思うのですが、啓発していく上で、果た
	して『男女共同参画社会』という言葉が適当なのかどうかという疑問が湧いてき
	て、自由記述の中でそういうことを書いておられる部分があったので、同じよう
	に思っておられる方がおられるのだと思いました。『男女共同参画社会』を啓発
	する時には何か別の表現ができないのかなというようなことを考えました。昨日
	たまたま見たテレビで来年度からの高校の教科書の内容について、お笑いのプロ
	デュースをやっていた方が教科書の開発に携われたということでした。高校の公
	民とかの授業の教科書だったと思うのですが、教科書の中のQRコードを読み取
	るとユーチューブの動画で漫才師がその内容についてコントで説明されるという
	ようなものでした。これから具体的に啓発を進める時、教育は教育の中での考え
	   方があると思うのですが、市民向けの啓発内容で『男女共同参画社会』について
	もっと分かりやすい表現を使って、理解してもらえるようなコンテンツを作成す
	ることができればいいかなという意見です。
 松田会長	ありがとうございます。
	他にないようでしたら、次に、資料の4ですね。第3次枚方市男女共同参画計
	画の総括について、事務局から説明をお願いしたいと思います。
 事務局	それでは、資料4について御説明させていただきます。
T-3/J/FU	< 資料 4 について説明 >
L	(A1111C) (WED)

松田会長	はい、どうもありがとうございました。
	それでは、資料4に関して、御意見、お気づきの点、御質問などあればお願い
	したいと思います。いかがでしょうか。
	はい、どうぞ。武田さん。
武田委員	西長尾小学校長の武田です。
	この基本目標1の3年から6年度の主な取組実績の男女共生フロア・ウィルの
	周知と合わせ、固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発を行ったというの
	は具体的にどのようなことを行ったのか、もうちょっと詳しく知りたいです。
事務局	こちらにつきましては、市民向けの講座を様々実施いたしまして、ジェンダー
	に関する講座ということで、専門の講師にお願いしました。具体的には女性の起
	業支援に関する講座ですとか、男性のコミュニケーション講座の実施です。男性
	を対象にした講座では、「男は男らしく」というジェンダー規範により相談をな
	かなかできないというような、ジェンダーの考えがコミュニケーションにも影響
	するというようなお話をさせていただきました。
武田委員	ありがとうございます。基本的には、そういう講座、講演会みたいなものを
	やっているということですね。
事務局	そうですね。また冊子を作成して配布もしております。
武田委員	その講座は、例えば男女共同参画、意識改革に関する講座みたいな、何か一つ
	のテーマがあって、連続講座のような形で強くカテゴライズをアピールしていた
	のでしょうか。それともばらばらで。
事務局	できるだけたくさん様々な方に来ていただくことが目的になりますので、タイ
	トルやテーマ、対象は様々ですけれども、その中でジェンダーに関することを入
	れていくようなかたちです。
武田委員	例えば私は小学校ですけれども、学校にもいろいろな案内が来るのですね。事
	業の案内や広告も来たりするのですが、廊下に貼ったり、掲示板に貼ったり、時
	には全員に配ったりもします。中身によってはいろいろあるのですが、タイトル
	づけはしなくても、何かサブテーマみたいな、これは男女共同参画に関係する取
	組なんだということが分かるようなものがついてあったら、関心のある人が広告
	を見て、意識を持って講座に行こうかなと思うことも増えたのではないかなと思
	いました。
	何か困り事の交流会のようなものが一つあっても意識啓発に繋がってよかった
	のかなと思います。啓発というテーマは基本目標2にも関係することです。
松田会長	以前、総務省か文化庁で何か小さいロゴみたいなものをつくって、協賛するイ
	ベントにはそのロゴをぴたっと貼るということがありました。そういうものが
	あってもいいかもしれないですね。
武田委員	もう一つよろしいでしょうか。
松田会長	はい、どうぞ。
武田委員	基本目標2のDV予防教育プログラムですが、私は実施いただいたのですけれ
	ど、全校やってもいい内容だと思います。やるべき内容です。これは数が限られ

単移局 はい。御希望を出していただき、その校数で予算要求しています。 学校側でやりましょうと、例えば校長会でそういう話をして、意識を持ちましょうという方向になり申し込んでいただければ、その分予算が取れるということです。  武田委員 おっしゃるとおり本当にすごく大事なところですし、逆にそういうふうに全校やるべきだとおっしゃっていただけるのは、非常にこちらとしてもありがたいことです。こちらとしても今のお話も踏まえて、どういうふうに働きかけていくかと考える必要があるかと思います。ありがとうございます。  私の個人の意見ですが伝えたいなと思いました。 本校ではDV予訪教育プログラムだけではなく、学校全体で関わり合うことのよさをしっかり育もうということで、コミュニケーション授業と呼んでいる演劇を使った指導法を用いて1年生から6年生まで他者意識を育むような取組をいろいるとしています。一つは文化生涯学習課で、平田オリザさんが枚方市内の小学校 20 校に1回、年に1回ずつ、演劇の授業を 3 時間だけ使ってしてくれています。子どもたちが折り合いをつけることの大事さというのをその時感じるのですよ。本校では1回だけだともったいないなと思って、それに似た授業を学期に1回先生方にやってもらうようにしています。これから安心安全な心理的安全性のある教室や学級をつくっていく上で、他者意識というものをしっかりクローズアップして、育めるような取組をすることもこれには通ずるかなと思っていまっ。アンケートの回答率以上に、若い人のデートDVにあたる行為について「変だと思う」と回答した割合が低下したことに驚きました。コミュニケーション力にも関係しているのかなと思った、それに合った指導をしようというようなことで個々の能力とか状況に合ったような形で本人に合った指導をしようという知識という流光でしているのですが、それとともに協働的な学でや他者意識という部分が減っていることも、終性の尊重も男女共同参加のなと思って、校方市全体での行政としての取組なので、アンケートを見て分析した結果、もう少し力入れなければいけない部分は事業に入れてもらえたらいいかなと思います。今は生涯学習課でやっている他者意識を育むための取組を毎年教育委員会でやって欲しいなと思っています。そういう意見を強いないでは、アンケートを見していただけたらなと思います。今は生涯学習課でやっている他者意識を育むための取組を毎年教育委員会でやって欲しいなと思っています。そういう意見もないですが、身体的最力ではいます。		てるのでしょうか。希望制ですよね。
は田委員 分かりました。	事務局	はい。御希望を出していただき、その校数で予算要求しています。
表です。 武田委員 分かりました。 事務局 おっしゃるとおり本当にすごく大事なところですし、逆にそういうふうに全校 やるべきだとおっしゃっていただけるのは、非常にこちらとしてもありがたいことです。こちらとしても今のお話も踏まえて、どういうふうに働きかけていくか と考える必要があるかと思います。ありがとうございます。 本校ではDV予防教育プログラムだけではなく、学校全体で関わり合うことの よさをしっかり育もうということで、コミュニケーション授業と呼んでいる演劇 を使った指導法を用いて1年生から6年生まで他者意識を育むような取組をいろいるとしています。一つは文化生涯学習課で、平田オリザさんが枚方市内の小学校 20 校に1回、年に1回ずつ、演劇の授業を3時間だけ使ってしてくれています。子どもたらが折り合いをつけることの大事さというのをその時感じるのですよ。本校では1回だけだともったいないなと思って、それに似た授業を学期に1回先生方にやってもらうようにしています。これから安心安全な心理的安全性のある教室や学級をつくっていく上で、他者意識というものをしっかりクローズアップして、育めるような取組をすることもこれには通ずるかなと思っています。アンケートの回答率以上に、若い人のデートDVにあたる行為について「変だと思う」と回答した割合が低下したことに驚きました。コミュニケーション力にも関係しているのかなと思って、学校現場では個別最適な学びというようなことで個々の能力とか状況に合ったような形で本人にものた指導をしようという傾向になってるのですが、それとともに協働的な学びや他者言識という部分が減っていることにも関係しているのかなと、私はそんなふうに解釈してるのですけれど。いろいろなところと連携しながら、総合的に関わり合うことのよさとか、多様性の尊重も男女共同参画の中でも連携すべき部分だと思います。何かそういう連携性を持った取組という視点も持って、枚方市全体での行政としての取組なので、アンケートを見て分析した結果、もう少し力入れなければいけない部分は事業に入れてもらえたらいいかなと思います。今日生涯学習課でやっている他者意識を育むための取組を毎年教育委員会でやって欲しいなと思っています。そういう意とのありがとうございます。		学校側でやりましょうと、例えば校長会でそういう話をして、意識を持ちま
武田委員 分かりました。 事務局 おっしゃるとおり本当にすごく大事なところですし、逆にそういうふうに全校 やるべきだとおっしゃっていただけるのは、非常にこちらとしてもありがたいことです。こちらとしても今のお話も踏まえて、どういうふうに働きかけていくか と考える必要があるかと思います。ありがとうございます。 私の個人の意見ですが伝えたいなと思いました。 本校ではDV予防教育プログラムだけではなく、学校全体で関わり合うことの よさをしっかり育もうということで、コミュニケーション授業と呼んでいる演劇を使った指導法を用いて1年生から6年生まで他者意識を育むような取組をいろいろとしています。一つは文化生涯学習課で、平田オリザさんが枚方市内の小学校20校に1回、年に1回ずつ、演劇の授業を3時間だけ使ってしてくれています。子どもたらが折り合いをつけることの大事さというのをその時感じるのですよ。本校では1回だけだともったいないなと思って、それに似た授業を学期に1回先生方にやってもらうようにしています。これから安心安全な心理的安全性のある教室や学数をつくっていく上で、他者意識というものをしっかりクローズアップして、育めるような取組をすることもこれには通ずるかなと思っています。アンケートの回答率以上に、若い人のデートDVにあたる行為について「変だと思う」と回答した割合が低下したことに驚きました。コミュニケーション儿にも関係しているのかなと思って、学校現場では個別最適な学びというようなことで個々の能力とか状況に合ったような形で本人に自己の能力とか状況に合ったような形で本人にものでが、それとともに協働的な学びや他者意識という部分が減っていることにも関係しているのかなと、私はそんなふうに解釈してるのですけれど。いろいろなところと連携しながら、総合的に関わり合うことのようとい、多様性の事重も男女共同参画の中でも連携すべき部分だと思います。何かそういう連携性を持った取組という視点も持って、枚方市全体での行政としての取組なので、アンケートを見て分析した結果、もう少し力入れなければいけない部分は事業に入れてもらえたらいいかなと思います。以上です。 かのお話についてすごく同意します。枚方市でひとり親相談、離婚相談をさせていただけたらなと思います。以上です。		しょうという方向になり申し込んでいただければ、その分予算が取れるというこ
事務局 おっしゃるとおり本当にすごく大事なところですし、逆にそういうふうに全校 やるべきだとおっしゃっていただけるのは、非常にこちらとしてもありがたいことです。こちらとしても今のお話も踏まえて、どういうふうに働きかけていくか と考える必要があるかと思います。ありがとうございます。 私の個人の意見ですが伝えたいなと思いました。 本校ではDV予防教育プログラムだけではなく、学校全体で関わり合うことの よさをしっかり育もうということで、コミュニケーション授業と呼んでいる演劇を使った指導法を用いて1年生から6年生まで他者を識を育むような取組をいる いろとしています。一つは文化生涯学習課で、平田ナリザさんが枚方市内の小学校 20 校に1回 年に1回ずつ、演劇の授業を 3 時間だけ使ってしてくれています。子どもたちが折り合いをつけることの大事さというのをその時感じるのですよ。本校では1回だけだともったいないなと思って、それに似た授業を学期に1回先生方にやってもらうようにしています。これから安心安全な心理的安全性のある教室や学級をつくっていく上で、他者意識というものをしっかりクローズアップして、育めるような取組をすることもこれには通ずるかなと思っています。アンケートの回答率以上に、若い人のデートDVにあたる行為について「変だと思う」と回答した割合が低下したことに驚きました。コミュニケーション力にも関係しているのかなと思って、学校現場では個別最適な学びというようなことで個々の能力とか状況に合ったような形で本人に合った指導をしようという傾向になってるのですが、それとともに協働的な学びや他者意識という部分が減っていることにも関係しているのかなと、私はそんなふうに解釈してるのですけれども、おりあるという相談かけでや他を見まま。何かそういう連携性を持った取組という視点も持って、枚方市全をでの行政としての取組なので、アンケートを見て分析した結果、もう少しの入れなければいけない部分は事業に入れてもらえたらいいかなと思います。今日を活についてすごく同意します。枚方市でひとり親相談、雕婚相談を言せていただけたらなと思います。以上です。		とです。
やるべきだとおっしゃっていただけるのは、非常にこちらとしてもありがたいことです。こちらとしても今のお話も踏まえて、どういうふうに働きかけていくかと考える必要があるかと思います。ありがとうございます。  私の個人の意見ですが伝えたいなと思いました。 本校ではDV予防教育プログラムだけではなく、学校全体で関わり合うことのよさをしっかり育もうということで、コミュニケーション授業と呼んでいる演劇を使った指導法を用いて1年生から6年生まで他者意識を育むような取組をいろいろとしています。一つは文化生涯学習課で、平田オリザさんが校方市内の小学校20校に1回、年に1回手つ、演劇の授業を3時間だけ使ってしてくれています。子どもたちが折り合いをつけることの大事さというのをその時感じるのですよ。本校では1回だけだともったいないなと思って、それに似た授業を学期に1回先生方にやってもらうようにしています。これから安心安全な心理的安全性のある教室や学級をつくっていく上で、他者意識というものをしっかりクローズアップして、育めるような取組をすることもこれには通ずるかなと思っています。アンケートの回答率以上に、若い人のデートDVにあたる行為について「変だと思う」と回答した割合が低下したことに驚きました。コミュニケーション力にも関係しているのかなと思って、学校現場では個別最適な学びというようなことで個々の能力とか状況に合ったような形で本人に合った指導をしようという傾向になってるのですが、それとともに協働的な学びや他者意識という部分が減っていることにも関係しているのかなと、私はそんなふうに解釈してるのですけれど。いろいろをとしての取組なので、アンケートを見て分析した結果、もう少し力入れなければいけない部分は事業に入れてもらえたらいいかなと思います。今は生涯学習課でやっている他者意識を育むための取組を毎年教育委員会でやって欲しいなと思っています。そういう意見も盛り込んでいただけたらなと思います。以上です。 松田会長 ありがとうございます。	武田委員	分かりました。
とです。こちらとしても今のお話も踏まえて、どういうふうに働きかけていくかと考える必要があるかと思います。ありがとうございます。	事務局	おっしゃるとおり本当にすごく大事なところですし、逆にそういうふうに全校
表の個人の意見ですが伝えたいなと思いました。 本校ではDV子助教育プログラムだけではなく、学校全体で関わり合うことのよさをしっかり育もうということで、コミュニケーション授業と呼んでいる演劇を使った指導法を用いて1年生から6年生まで他者意識を育むような取組をいろいろとしています。一つは文化生涯学習課で、平田オリザさんが校方市内の小学校20校に1回、年に1回ずつ、演劇の授業を3時間だけ使ってしてくれています。子どもたちが折り合いをつけることの大事さというのをその時感じるのですよ。本校では1回だけだともったいないなと思って、それに似た授業を学期に回先生方にやってもらうようにしています。これから安心安全な心理的安全性のある教室や学線をつくっていく上で、他者意識というものをしっかりクローズアップして、育めるような取組をすることもこれには通ずるかなと思っています。アンケートの回答率以上に、若い人のデートDVにあたる行為について「変だと思う」と回答した割合が低下したことに驚きました。コミュニケーション力にも関係しているのかなと思って、学校現場では個別最適な学びというようなことで個々の能力とか状況に合ったような形で本人に合った指導をしようという傾向になってるのですが、それとともに恊働的な学びや他者意識という部分が減っていることにも関係しているのかなと、私はそんなふうに解釈してるのですけれど。いろいろなところと連携しながら、総合的に関わり合うことのよさとか、多様性の尊重も男女共同参画の中でも連携すべき部分だと思います。何かそういう連携性を持った取組という視点も持って、枚方市全体での行政としての取組なので、アンケートを見て分析した結果、もう少し力人れなければいけない部分は事業に入れてもらえたらいいかなと思います。今は生涯学習獣でやっている他者意識を育むための取組を毎年教育委員会でやって欲しいなと思っています。そういう意見も盛り込んでいただけたらなと思います。以上です。 松田会長 ありがとうございます。		やるべきだとおっしゃっていただけるのは、非常にこちらとしてもありがたいこ
武田委員 私の個人の意見ですが伝えたいなと思いました。 本校ではDV予防教育プログラムだけではなく、学校全体で関わり合うことのよさをしつかり育もうということで、コミュニケーション授業と呼んでいる演劇を使った指導法を用いて1年生から6年生まで他者意識を育むような取組をいるいろとしています。一つは文化生涯学習課で、平田オリザさんが校方市内の小学校20校に1回、年に1回ずつ、演劇の授業を3時間だけ使ってしてくれています。子どもたちが折り合いをつけることの大事さというのをその時感じるのですよ。本校では1回だけだともったいないなと思って、それに似た授業を学期に1回先生方にやってもらうようにしています。これから安心安全な心理的安全性のある教室や学級をつくっていく上で、他者意識というものをしっかりクローズアップして、育めるような取組をすることもこれには通ずるかなと思っています。アンケートの回答率以上に、若い人のデートDVにあたる行為について「変だと思う」と回答した割合が低下したことに驚きました。コミュニケーション力にも関係しているのかなと思って、学校現場では個別最適な学びというようという傾向になってるのですが、それとともに協働的な学びや他者意識という部分が減ついることにも関係しているのかなと、私はそんなふうに解釈してるのですけれど。いるいろをところと連携しながら、総合的に関わり合うことのよさとか、多様性の尊重も男女共同参画の中でも連携すべき部分だと思います。何かそういう連携性を持った取組という視点も持って、枚方市全体での行政としての取組なので、アンケートを見て分析した結果、もう少し力入れなければいけない部分は事業に入れてもらえたらいいかなと思います。今は生涯学習課でやっている他者意識を育むための取組を毎年教育委員会でやって欲しいなと思っています。そういう意見も盛り込んでいただけたらなと思います。以上です。		とです。こちらとしても今のお話も踏まえて、どういうふうに働きかけていくか
本校ではDV予防教育プログラムだけではなく、学校全体で関わり合うことのよさをしっかり育もうということで、コミュニケーション授業と呼んでいる演劇を使った指導法を用いて1年生から6年生まで他者意識を育むような取組をいろいろとしています。一つは文化生涯学習課で、平田オリザさんが枚方市内の小学校20校に1回、年に1回ずつ、演劇の授業を3時間だけ使ってしてくれています。子どもたちが折り合いをつけることの大事さというのをその時感じるのですよ。本校では1回だけだともったいないなと思って、それに似た授業を学期に1回先生方にやってもらうようにしています。これから安企な心理的安全性のある教室や学級をつくっていく上で、他者意識というものをしっかりクローズアップして、育めるような取組をすることもこれには通ずるかなと思っています。アンケートの回答率以上に、若い人のデートDVにあたる行為について「変だと思う」と回答した割合が低下したことに驚きました。コミュニケーション力にも関係しているのかなと思って、学校現場では個別最適な学びというようなことで個々の能力とか状況に合ったような形で本人に合った指導をしようという傾向になってるのですが、それとともに協働的な学びや他者意識という部分が減っていることにも関係しているのかなと、私はそんなふうに解釈してるのですけれど。いるいろなところと連携しながら、総合的に関わり合うことのよさとか、多様性の尊重も男女共同参画の中でも連携すべき部分だと思います。何かそういう連携性を持った取組という視点も持って、枚方市全体での行政としての取組なので、アンケートを見て分析した結果、もう少し力入れなければいけない部分は事業に入れてもらえたらいいかなと思います。今は生涯学習課でやっている他者意識を育むための取組を毎年教育委員会でやって欲しいなと思っています。そういう意見も盛り込んでいただけたらなと思います。以上です。		と考える必要があるかと思います。ありがとうございます。
よさをしっかり育もうということで、コミュニケーション授業と呼んでいる演劇を使った指導法を用いて1年生から6年生まで他者意識を育むような取組をいろいろとしています。一つは文化生涯学習課で、平田オリザさんが枚方市内の小学校20校に1回、年に1回ずつ、演劇の授業を3時間だけ使ってしてくれています。子どもたちが折り合いをつけることの大事さというのをその時感じるのですよ。本校では1回だけだともったいないなと思って、それに似た授業を学期に1回先生方にやってもらうようにしています。これから安心安全な心理的安全性のある教室や学級をつくっていく上で、他者意識というものをしっかりクローズアップして、育めるような取組をすることもこれには通ずるかなと思っています。アンケートの回答率以上に、若い人のデートDVにあたる行為について「変だと思う」と回答した割合が低下したことに驚きました。コミュニケーション力にも関係しているのかなと思って、学校現場では個別最適な学びというようなことで個々の能力とか状況に合ったような形で本人に合った指導をしようという傾向になってるのですが、それとともに協働的な学びや他者意識という部分が減っていることにも関係しているのかなと、私はそんなふうに解釈してるのですけれど。いろいろなところと連携しながら、総合的に関わり合うことのよさとか、多様性の尊重も男女共同参画の中でも連携すべき部分だと思います。何かそういう連携性を持った取組という視点も持って、枚方市全体での行政としての取組なので、アンケートを見て分析した結果、もう少し力入れなければいけない部分は事業に入れてもらえたらいいかなと思います。今は生涯学習課でやっている他者意識を育むための取組を毎年教育委員会でやって欲しいなと思っています。そういう意見も盛り込んでいただけたらなと思います。以上です。 松田会長 ありがとうございます。	武田委員	私の個人の意見ですが伝えたいなと思いました。
を使った指導法を用いて1年生から6年生まで他者意識を育むような取組をいろいるとしています。一つは文化生涯学習課で、平田オリザさんが枚方市内の小学校20校に1回、年に1回ずつ、演劇の授業を3時間だけ使ってしてくれています。子どもたちが折り合いをつけることの大事さというのをその時感じるのですよ。本校では1回だけだともったいないなと思って、それに似た授業を学期に1回先生方にやってもらうようにしています。これから安心安全な心理的安全性のある教室や学級をつくっていく上で、他者意識というものをしっかりクローズアップして、育めるような取組をすることもこれには通ずるかなと思っています。 アンケートの回答率以上に、若い人のデートDVにあたる行為について「変だと思う」と回答した割合が低下したことに驚きました。コミュニケーション力にも関係しているのかなと思って、学校現場では個別最適な学びというようなことで個々の能力とか状況に合ったような形で本人に合った指導をしようという傾向になってるのですが、それととは協働的な学びや他者意識という部分が減っていることにも関係しているのかなと、私はそんなふうに解釈してるのですけれど。いろいろなところと連携しながら、総合的に関わり合うことのよさとか、多様性の尊重も男女共同参画の中でも連携すべき部分だと思います。何かそういう連携性を持った取組という視点も持って、枚方市全体での行政としての取組なので、アンケートを見て分析した結果、もう少し力入れなければいけない部分は事業に入れてもらえたらいいかなと思います。今は生涯学習課でやっている他者意識を育むための取組を毎年教育委員会でやって欲しいなと思っています。そういう意見も盛り込んでいただけたらなと思います。以上です。 松田会長 ありがとうございます。		本校ではDV予防教育プログラムだけではなく、学校全体で関わり合うことの
いろとしています。一つは文化生涯学習課で、平田オリザさんが枚方市内の小学校 20 校に1回、年に1回ずつ、演劇の授業を 3 時間だけ使ってしてくれています。子どもたちが折り合いをつけることの大事さというのをその時感じるのですよ。本校では1回だけだともったいないなと思って、それに似た授業を学期に1回先生方にやってもらうようにしています。これから安心安全な心理的安全性のある教室や学級をつくっていく上で、他者意識というものをしっかりクローズアップして、育めるような取組をすることもこれには通ずるかなと思っています。  アンケートの回答率以上に、若い人のデートDVにあたる行為について「変だと思う」と回答した割合が低下したことに驚きました。コミュニケーション力にも関係しているのかなと思って、学校現場では個別最適な学びというようなことで個々の能力とか状況に合ったような形で本人に合った指導をしようという傾向になってるのですが、それとともに協働的な学びや他者意識という部分が減っていることにも関係しているのかなと、私はそんなからに解釈してるのですけれど。いろいろなところと連携しながら、総合的に関わり合うことのよさとか、多様性の尊重も男女共同参画の中でも連携すべき部分だと思います。何かそういう連携性を持った取組という視点も持って、枚方市全体での行政としての取組なので、アンケートを見て分析した結果、もう少し力入れなければいけない部分は事業に入れてもらえたらいいかなと思います。今は生涯学習課でやっている他者意識を育むための取組を毎年教育委員会でやって欲しいなと思っています。そういう意見も盛り込んでいただけたらなと思います。以上です。  松田会長  ありがとうございます。  王野委員  今のお話についてすごく同意します。枚方市でひとり親相談、離婚相談をさせていただいてますけれども、DVがあるという御相談がすごく多いですが、身体的暴力をぼこぼこに受けてという御相談よりは、いわゆるモラハラで、要するに		よさをしっかり育もうということで、コミュニケーション授業と呼んでいる演劇
校 20 校に1回、年に1回ずつ、演劇の授業を 3 時間だけ使ってしてくれています。子どもたちが折り合いをつけることの大事さというのをその時感じるのですよ。本校では1回だけだともったいないなと思って、それに似た授業を学期に1回先生方にやってもらうようにしています。これから安心安全な心理的安全性のある教室や学級をつくっていく上で、他者意識というものをしっかりクローズアップして、育めるような取組をすることもこれには通ずるかなと思っています。  アンケートの回答率以上に、若い人のデートDVにあたる行為について「変だと思う」と回答した割合が低下したことに驚きました。コミュニケーション力にも関係しているのかなと思って、学校現場では個別最適な学びというようなことで個々の能力とか状況に合ったような形で本人に合った指導をしようという傾向になってるのですが、それとともに恊働的な学びや他者意識という部分が減っていることにも関係しているのかなと、私はそんなふうに解釈してるのですけれど。いろいろなところと連携しながら、総合的に関わり合うことのよさとか、多様性の尊重も男女共同参画の中でも連携すべき部分だと思います。何かそういう連携性を持った取組という視点も持って、枚方市全体での行政としての取組なので、アンケートを見て分析した結果、もう少し力入れなければいけない部分は事業に入れてもらえたらいいかなと思います。今は生涯学習課でやっている他者意識を育むための取組を毎年教育委員会でやって欲しいなと思っています。そういう意見も盛り込んでいただけたらなと思います。以上です。  松田会長  本のお話についてすごく同意します。枚方市でひとり親相談、離婚相談をさせていただいてますけれども、DVがあるという御相談がすごく多いですが、身体的暴力をぼこぼこに受けてという御相談よりは、いわゆるモラハラで、要するに		を使った指導法を用いて1年生から6年生まで他者意識を育むような取組をいろ
す。子どもたちが折り合いをつけることの大事さというのをその時感じるのですよ。本校では1回だけだともったいないなと思って、それに似た授業を学期に1回先生方にやってもらうようにしています。これから安心安全な心理的安全性のある教室や学級をつくっていく上で、他者意識というものをしっかりクローズアップして、育めるような取組をすることもこれには通ずるかなと思っています。 アンケートの回答率以上に、若い人のデートDVにあたる行為について「変だと思う」と回答した割合が低下したことに驚きました。コミュニケーション力にも関係しているのかなと思って、学校現場では個別最適な学びというようなことで個々の能力とか状況に合ったような形で本人に合った指導をしようという傾向になってるのですが、それとともに恊働的な学びや他者意識という部分が減っていることにも関係しているのかなと、私はそんなふうに解釈してるのですけれど。いろいろなところと連携しながら、総合的に関わり合うことのよさとか、多様性の尊重も男女共同参画の中でも連携すべき部分だと思います。何かそういう連携性を持った取組という視点も持って、枚方市全体での行政としての取組なので、アンケートを見て分析した結果、もう少し力入れなければいけない部分は事業に入れてもらえたらいいかなと思います。今は生涯学習課でやっている他者意識を育むための取組を毎年教育委員会でやって欲しいなと思っています。そういう意見も盛り込んでいただけたらなと思います。以上です。  松田会長 ありがとうございます。 今のお話についてすごく同意します。枚方市でひとり親相談、離婚相談をさせていただいてますけれども、DVがあるという御相談がすごく多いですが、身体的暴力をぼこぼこに受けてという御相談よりは、いわゆるモラハラで、要するに		いろとしています。一つは文化生涯学習課で、平田オリザさんが枚方市内の小学
よ。本校では1回だけだともったいないなと思って、それに似た授業を学期に1回先生方にやってもらうようにしています。これから安心安全な心理的安全性のある教室や学級をつくっていく上で、他者意識というものをしっかりクローズアップして、育めるような取組をすることもこれには通ずるかなと思っています。 アンケートの回答率以上に、若い人のデートDVにあたる行為について「変だと思う」と回答した割合が低下したことに驚きました。コミュニケーション力にも関係しているのかなと思って、学校現場では個別最適な学びというようなことで個々の能力とか状況に合ったような形で本人に合った指導をしようという傾向になってるのですが、それとともに恊働的な学びや他者意識という部分が減っていることにも関係しているのかなと、私はそんなふうに解釈してるのですけれど。いろいろなところと連携しながら、総合的に関わり合うことのよさとか、多様性の尊重も男女共同参画の中でも連携すべき部分だと思います。何かそういう連携性を持った取組という視点も持って、枚方市全体での行政としての取組なので、アンケートを見て分析した結果、もう少し力入れなければいけない部分は事業に入れてもらえたらいいかなと思います。今は生涯学習課でやっている他者意識を育むための取組を毎年教育委員会でやって欲しいなと思っています。そういう意見も盛り込んでいただけたらなと思います。以上です。  松田会長 ありがとうございます。 本語についてすごく同意します。枚方市でひとり親相談、離婚相談をさせていただいてますけれども、DVがあるという御相談がすごく多いですが、身体的暴力をぼこぼこに受けてという御相談よりは、いわゆるモラハラで、要するに		校 20 校に1回、年に1回ずつ、演劇の授業を 3 時間だけ使ってしてくれていま
回先生方にやってもらうようにしています。これから安心安全な心理的安全性のある教室や学級をつくっていく上で、他者意識というものをしっかりクローズアップして、育めるような取組をすることもこれには通ずるかなと思っています。 アンケートの回答率以上に、若い人のデートDVにあたる行為について「変だと思う」と回答した割合が低下したことに驚きました。コミュニケーション力にも関係しているのかなと思って、学校現場では個別最適な学びというようなことで個々の能力とか状況に合ったような形で本人に合った指導をしようという傾向になってるのですが、それとともに協働的な学びや他者意識という部分が減っていることにも関係しているのかなと、私はそんなふうに解釈してるのですけれど。いろいろなところと連携しながら、総合的に関わり合うことのよさとか、多様性の尊重も男女共同参画の中でも連携すべき部分だと思います。何かそういう連携性を持った取組という視点も持って、枚方市全体での行政としての取組なので、アンケートを見て分析した結果、もう少し力入れなければいけない部分は事業に入れてもらえたらいいかなと思います。今は生涯学習課でやっている他者意識を育むための取組を毎年教育委員会でやって欲しいなと思っています。そういう意見も盛り込んでいただけたらなと思います。以上です。 松田会長 ありがとうございます。 本野委員 今のお話についてすごく同意します。枚方市でひとり親相談、離婚相談をさせていただいてますけれども、DVがあるという御相談がすごく多いですが、身体的暴力をぼこぼこに受けてという御相談よりは、いわゆるモラハラで、要するに		す。子どもたちが折り合いをつけることの大事さというのをその時感じるのです
ある教室や学級をつくっていく上で、他者意識というものをしっかりクローズ アップして、育めるような取組をすることもこれには通ずるかなと思っていま す。 アンケートの回答率以上に、若い人のデートDVにあたる行為について「変だ と思う」と回答した割合が低下したことに驚きました。コミュニケーション力に も関係しているのかなと思って、学校現場では個別最適な学びというようなこと で個々の能力とか状況に合ったような形で本人に合った指導をしようという傾向 になってるのですが、それとともに協働的な学びや他者意識という部分が減って いることにも関係しているのかなと、私はそんなふうに解釈してるのですけれ ど。いろいろなところと連携しながら、総合的に関わり合うことのよさとか、多 様性の尊重も男女共同参画の中でも連携すべき部分だと思います。何かそういう 連携性を持った取組という視点も持って、枚方市全体での行政としての取組なの で、アンケートを見て分析した結果、もう少し力入れなければいけない部分は事業に入れてもらえたらいいかなと思います。今は生涯学習課でやっている他者意識を育むための取組を毎年教育委員会でやって欲しいなと思っています。そういう意見も盛り込んでいただけたらなと思います。以上です。  松田会長  本野委員 今のお話についてすごく同意します。枚方市でひとり親相談、離婚相談をさせていただいてますけれども、DVがあるという御相談がすごく多いですが、身体的暴力をぼこぼこに受けてという御相談よりは、いわゆるモラハラで、要するに		よ。本校では1回だけだともったいないなと思って、それに似た授業を学期に1
アップして、育めるような取組をすることもこれには通ずるかなと思っています。 アンケートの回答率以上に、若い人のデートDVにあたる行為について「変だと思う」と回答した割合が低下したことに驚きました。コミュニケーション力にも関係しているのかなと思って、学校現場では個別最適な学びというようなことで個々の能力とか状況に合ったような形で本人に合った指導をしようという傾向になってるのですが、それとともに協働的な学びや他者意識という部分が減っていることにも関係しているのかなと、私はそんなふうに解釈してるのですけれど。いろいろなところと連携しながら、総合的に関わり合うことのよさとか、多様性の尊重も男女共同参画の中でも連携すべき部分だと思います。何かそういう連携性を持った取組という視点も持って、枚方市全体での行政としての取組なので、アンケートを見て分析した結果、もう少し力入れなければいけない部分は事業に入れてもらえたらいいかなと思います。今は生涯学習課でやっている他者意識を育むための取組を毎年教育委員会でやって欲しいなと思っています。そういう意見も盛り込んでいただけたらなと思います。以上です。  松田会長 ありがとうございます。 本野委員 今のお話についてすごく同意します。枚方市でひとり親相談、離婚相談をさせていただいてますけれども、DVがあるという御相談がすごく多いですが、身体的暴力をぼこぼこに受けてという御相談よりは、いわゆるモラハラで、要するに		回先生方にやってもらうようにしています。これから安心安全な心理的安全性の
す。     アンケートの回答率以上に、若い人のデートDVにあたる行為について「変だと思う」と回答した割合が低下したことに驚きました。コミュニケーション力にも関係しているのかなと思って、学校現場では個別最適な学びというようなことで個々の能力とか状況に合ったような形で本人に合った指導をしようという傾向になってるのですが、それとともに協働的な学びや他者意識という部分が減っていることにも関係しているのかなと、私はそんなふうに解釈してるのですけれど。いろいろなところと連携しながら、総合的に関わり合うことのよさとか、多様性の尊重も男女共同参画の中でも連携すべき部分だと思います。何かそういう連携性を持った取組という視点も持って、枚方市全体での行政としての取組なので、アンケートを見て分析した結果、もう少し力入れなければいけない部分は事業に入れてもらえたらいいかなと思います。今は生涯学習課でやっている他者意識を育むための取組を毎年教育委員会でやって欲しいなと思っています。そういう意見も盛り込んでいただけたらなと思います。以上です。  松田会長  ありがとうございます。  本田会長  今のお話についてすごく同意します。枚方市でひとり親相談、離婚相談をさせていただいてますけれども、DVがあるという御相談がすごく多いですが、身体的暴力をぼこぼこに受けてという御相談よりは、いわゆるモラハラで、要するに		ある教室や学級をつくっていく上で、他者意識というものをしっかりクローズ
アンケートの回答率以上に、若い人のデートDVにあたる行為について「変だと思う」と回答した割合が低下したことに驚きました。コミュニケーション力にも関係しているのかなと思って、学校現場では個別最適な学びというようなことで個々の能力とか状況に合ったような形で本人に合った指導をしようという傾向になってるのですが、それとともに協働的な学びや他者意識という部分が減っていることにも関係しているのかなと、私はそんなふうに解釈してるのですけれど。いろいろなところと連携しながら、総合的に関わり合うことのよさとか、多様性の尊重も男女共同参画の中でも連携すべき部分だと思います。何かそういう連携性を持った取組という視点も持って、枚方市全体での行政としての取組なので、アンケートを見て分析した結果、もう少し力入れなければいけない部分は事業に入れてもらえたらいいかなと思います。今は生涯学習課でやっている他者意識を育むための取組を毎年教育委員会でやって欲しいなと思っています。そういう意見も盛り込んでいただけたらなと思います。以上です。  松田会長  本りがとうございます。  玉野委員  今のお話についてすごく同意します。枚方市でひとり親相談、離婚相談をさせていただいてますけれども、DVがあるという御相談がすごく多いですが、身体的暴力をぼこぼこに受けてという御相談よりは、いわゆるモラハラで、要するに		アップして、育めるような取組をすることもこれには通ずるかなと思っていま
と思う」と回答した割合が低下したことに驚きました。コミュニケーション力にも関係しているのかなと思って、学校現場では個別最適な学びというようなことで個々の能力とか状況に合ったような形で本人に合った指導をしようという傾向になってるのですが、それとともに協働的な学びや他者意識という部分が減っていることにも関係しているのかなと、私はそんなふうに解釈してるのですけれど。いろいろなところと連携しながら、総合的に関わり合うことのよさとか、多様性の尊重も男女共同参画の中でも連携すべき部分だと思います。何かそういう連携性を持った取組という視点も持って、枚方市全体での行政としての取組なので、アンケートを見て分析した結果、もう少し力入れなければいけない部分は事業に入れてもらえたらいいかなと思います。今は生涯学習課でやっている他者意識を育むための取組を毎年教育委員会でやって欲しいなと思っています。そういう意見も盛り込んでいただけたらなと思います。以上です。  松田会長  ありがとうございます。  本野委員  今のお話についてすごく同意します。枚方市でひとり親相談、離婚相談をさせていただいてますけれども、DVがあるという御相談がすごく多いですが、身体的暴力をぼこぼこに受けてという御相談よりは、いわゆるモラハラで、要するに		す。
も関係しているのかなと思って、学校現場では個別最適な学びというようなことで個々の能力とか状況に合ったような形で本人に合った指導をしようという傾向になってるのですが、それとともに協働的な学びや他者意識という部分が減っていることにも関係しているのかなと、私はそんなふうに解釈してるのですけれど。いろいろなところと連携しながら、総合的に関わり合うことのよさとか、多様性の尊重も男女共同参画の中でも連携すべき部分だと思います。何かそういう連携性を持った取組という視点も持って、枚方市全体での行政としての取組なので、アンケートを見て分析した結果、もう少し力入れなければいけない部分は事業に入れてもらえたらいいかなと思います。今は生涯学習課でやっている他者意識を育むための取組を毎年教育委員会でやって欲しいなと思っています。そういう意見も盛り込んでいただけたらなと思います。以上です。  松田会長  本野委員  今のお話についてすごく同意します。枚方市でひとり親相談、離婚相談をさせていただいてますけれども、DVがあるという御相談がすごく多いですが、身体的暴力をぼこぼこに受けてという御相談よりは、いわゆるモラハラで、要するに		アンケートの回答率以上に、若い人のデートDVにあたる行為について「変だ
で個々の能力とか状況に合ったような形で本人に合った指導をしようという傾向になってるのですが、それとともに協働的な学びや他者意識という部分が減っていることにも関係しているのかなと、私はそんなふうに解釈してるのですけれど。いろいろなところと連携しながら、総合的に関わり合うことのよさとか、多様性の尊重も男女共同参画の中でも連携すべき部分だと思います。何かそういう連携性を持った取組という視点も持って、枚方市全体での行政としての取組なので、アンケートを見て分析した結果、もう少し力入れなければいけない部分は事業に入れてもらえたらいいかなと思います。今は生涯学習課でやっている他者意識を育むための取組を毎年教育委員会でやって欲しいなと思っています。そういう意見も盛り込んでいただけたらなと思います。以上です。  松田会長 ありがとうございます。  本田会長 ちりがとうございます。  本田会長 かりお話についてすごく同意します。枚方市でひとり親相談、離婚相談をさせていただいてますけれども、DVがあるという御相談がすごく多いですが、身体的暴力をぼこぼこに受けてという御相談よりは、いわゆるモラハラで、要するに		
になってるのですが、それとともに協働的な学びや他者意識という部分が減っていることにも関係しているのかなと、私はそんなふうに解釈してるのですけれど。いろいろなところと連携しながら、総合的に関わり合うことのよさとか、多様性の尊重も男女共同参画の中でも連携すべき部分だと思います。何かそういう連携性を持った取組という視点も持って、枚方市全体での行政としての取組なので、アンケートを見て分析した結果、もう少し力入れなければいけない部分は事業に入れてもらえたらいいかなと思います。今は生涯学習課でやっている他者意識を育むための取組を毎年教育委員会でやって欲しいなと思っています。そういう意見も盛り込んでいただけたらなと思います。以上です。  松田会長 ありがとうございます。  玉野委員 今のお話についてすごく同意します。枚方市でひとり親相談、離婚相談をさせていただいてますけれども、DVがあるという御相談がすごく多いですが、身体的暴力をぼこぼこに受けてという御相談よりは、いわゆるモラハラで、要するに		も関係しているのかなと思って、学校現場では個別最適な学びというようなこと
いることにも関係しているのかなと、私はそんなふうに解釈してるのですけれ ど。いろいろなところと連携しながら、総合的に関わり合うことのよさとか、多 様性の尊重も男女共同参画の中でも連携すべき部分だと思います。何かそういう 連携性を持った取組という視点も持って、枚方市全体での行政としての取組なの で、アンケートを見て分析した結果、もう少し力入れなければいけない部分は事 業に入れてもらえたらいいかなと思います。今は生涯学習課でやっている他者意 識を育むための取組を毎年教育委員会でやって欲しいなと思っています。そうい う意見も盛り込んでいただけたらなと思います。以上です。 松田会長 ありがとうございます。 玉野委員 今のお話についてすごく同意します。枚方市でひとり親相談、離婚相談をさせ ていただいてますけれども、DVがあるという御相談がすごく多いですが、身体 的暴力をぼこぼこに受けてという御相談よりは、いわゆるモラハラで、要するに		で個々の能力とか状況に合ったような形で本人に合った指導をしようという傾向
ど。いろいろなところと連携しながら、総合的に関わり合うことのよさとか、多様性の尊重も男女共同参画の中でも連携すべき部分だと思います。何かそういう連携性を持った取組という視点も持って、枚方市全体での行政としての取組なので、アンケートを見て分析した結果、もう少し力入れなければいけない部分は事業に入れてもらえたらいいかなと思います。今は生涯学習課でやっている他者意識を育むための取組を毎年教育委員会でやって欲しいなと思っています。そういう意見も盛り込んでいただけたらなと思います。以上です。  松田会長 ありがとうございます。  本田会長 今のお話についてすごく同意します。枚方市でひとり親相談、離婚相談をさせていただいてますけれども、DVがあるという御相談がすごく多いですが、身体的暴力をぼこぼこに受けてという御相談よりは、いわゆるモラハラで、要するに		になってるのですが、それとともに協働的な学びや他者意識という部分が減って
様性の尊重も男女共同参画の中でも連携すべき部分だと思います。何かそういう 連携性を持った取組という視点も持って、枚方市全体での行政としての取組なの で、アンケートを見て分析した結果、もう少し力入れなければいけない部分は事業に入れてもらえたらいいかなと思います。今は生涯学習課でやっている他者意識を育むための取組を毎年教育委員会でやって欲しいなと思っています。そういう意見も盛り込んでいただけたらなと思います。以上です。		いることにも関係しているのかなと、私はそんなふうに解釈してるのですけれ
連携性を持った取組という視点も持って、枚方市全体での行政としての取組なので、アンケートを見て分析した結果、もう少し力入れなければいけない部分は事業に入れてもらえたらいいかなと思います。今は生涯学習課でやっている他者意識を育むための取組を毎年教育委員会でやって欲しいなと思っています。そういう意見も盛り込んでいただけたらなと思います。以上です。  松田会長 ありがとうございます。  玉野委員 今のお話についてすごく同意します。枚方市でひとり親相談、離婚相談をさせていただいてますけれども、DVがあるという御相談がすごく多いですが、身体的暴力をぼこぼこに受けてという御相談よりは、いわゆるモラハラで、要するに		ど。いろいろなところと連携しながら、総合的に関わり合うことのよさとか、多
で、アンケートを見て分析した結果、もう少し力入れなければいけない部分は事業に入れてもらえたらいいかなと思います。今は生涯学習課でやっている他者意識を育むための取組を毎年教育委員会でやって欲しいなと思っています。そういう意見も盛り込んでいただけたらなと思います。以上です。  松田会長 ありがとうございます。  玉野委員 今のお話についてすごく同意します。枚方市でひとり親相談、離婚相談をさせていただいてますけれども、DVがあるという御相談がすごく多いですが、身体的暴力をぼこぼこに受けてという御相談よりは、いわゆるモラハラで、要するに		様性の尊重も男女共同参画の中でも連携すべき部分だと思います。何かそういう
業に入れてもらえたらいいかなと思います。今は生涯学習課でやっている他者意識を育むための取組を毎年教育委員会でやって欲しいなと思っています。そういう意見も盛り込んでいただけたらなと思います。以上です。  松田会長 ありがとうございます。  玉野委員 今のお話についてすごく同意します。枚方市でひとり親相談、離婚相談をさせていただいてますけれども、DVがあるという御相談がすごく多いですが、身体的暴力をぼこぼこに受けてという御相談よりは、いわゆるモラハラで、要するに		連携性を持った取組という視点も持って、枚方市全体での行政としての取組なの
識を育むための取組を毎年教育委員会でやって欲しいなと思っています。そういう意見も盛り込んでいただけたらなと思います。以上です。  松田会長 ありがとうございます。  玉野委員 今のお話についてすごく同意します。枚方市でひとり親相談、離婚相談をさせていただいてますけれども、DVがあるという御相談がすごく多いですが、身体的暴力をぼこぼこに受けてという御相談よりは、いわゆるモラハラで、要するに		で、アンケートを見て分析した結果、もう少し力入れなければいけない部分は事
う意見も盛り込んでいただけたらなと思います。以上です。  松田会長 ありがとうございます。  玉野委員 今のお話についてすごく同意します。枚方市でひとり親相談、離婚相談をさせていただいてますけれども、DVがあるという御相談がすごく多いですが、身体的暴力をぼこぼこに受けてという御相談よりは、いわゆるモラハラで、要するに		業に入れてもらえたらいいかなと思います。今は生涯学習課でやっている他者意
松田会長 ありがとうございます。  玉野委員 今のお話についてすごく同意します。枚方市でひとり親相談、離婚相談をさせていただいてますけれども、DVがあるという御相談がすごく多いですが、身体的暴力をぼこぼこに受けてという御相談よりは、いわゆるモラハラで、要するに		識を育むための取組を毎年教育委員会でやって欲しいなと思っています。そうい
玉野委員 今のお話についてすごく同意します。枚方市でひとり親相談、離婚相談をさせていただいてますけれども、DVがあるという御相談がすごく多いですが、身体的暴力をぼこぼこに受けてという御相談よりは、いわゆるモラハラで、要するに		う意見も盛り込んでいただけたらなと思います。以上です。 
ていただいてますけれども、DVがあるという御相談がすごく多いですが、身体的暴力をぼこぼこに受けてという御相談よりは、いわゆるモラハラで、要するに	松田会長	ありがとうございます。 
的暴力をぼこぼこに受けてという御相談よりは、いわゆるモラハラで、要するに	玉野委員	今のお話についてすごく同意します。枚方市でひとり親相談、離婚相談をさせ
		ていただいてますけれども、DVがあるという御相談がすごく多いですが、身体
i de la companya de		的暴力をぼこぼこに受けてという御相談よりは、いわゆるモラハラで、要するに
さっきのアンケートにあったような、言うこと聞かなかったら不機嫌になると		さっきのアンケートにあったような、言うこと聞かなかったら不機嫌になると

か、どこにいるとか、支配的な関わりを長年受けて、嫌になって別れたいというような相談がほとんどかなと思います。もちろん何十年前に1回暴力を受けましたといった御相談もあるんですけれども、離婚の法的対応をしていこうと思ったら、身体的暴力を受けたというふうな形にはならないので、お話を聞いていると非常にしんどいなというふうに思うのです。結婚生活はすごくしんどいと思うのですが、もうおっしゃるとおり、コミュニケーション不足とか他者とどう関わるかによって、もう少し前の段階できちんと身につけていたら、結婚生活もこんなにしんどくなかったのではないかなと思います。例えば男性側が多いので男性と言いますけれども、男性がそんなふうに関わるということがおかしいということを教育の場で対話とか、他者との関わりというものを身につけていたら、10年、20年先のその生活、そしてひとり親の養育費の問題など、全部繋がっているような気がして、今のお話は私もすごく共感しました。以上です。

松田会長

ありがとうございます。 どうぞ。

## 迫間委員

本当に重ね重ねですけれど、私も非常に共感しました。本当に全て繋がって、 教育、幼少期からの経験というのはすごく繋がっていることだなと思います。今 回、この基本目標が1、2、3、4、5から3になるので、それに関連してだと 思うのですが、周りの話や、私自身の経験もそうですが、このDV、デートDV は男女間ですが、親からの子どもへのDVとかというのも依然としてあります。 ただやはりお子さんをお持ちの方は誰しも経験あるのかと思うのですが、子育て している中でやはり女性が子どもの面倒見ていることが多く、そこで非常にスト レスが溜まって、どうしても手が出ちゃうとか、叱るときに手が出ちゃうという のもあると思います。そのぐらいのストレスに至ってしまうということも本当に 仕方がないのかなとは思うのですが、それがこの基本目標2が理由だとしたら、 基本目標3の男女で協働して、今後の対応として家事を一緒にして、子育ても一 緒にして、そのストレスを分かち合いましょうということになるのかなと思いま す。せっかくその目標が合わさっていくのであれば別々にやっていくことかもし れませんが連動させることがいいかなと思います。また、新しく「困難な問題を 抱える女性への支援に関する法律」というのが加わってくると思うんですが、女 性からしたらこの数十年でいきなり男女共同参画、女性活躍とか言われて、今ま で私はお嫁さんになれればいいと思っていた人がいきなり社会に放り出されて、 「昔思っていた私の大人像と違うぞ」みたいな人もたくさんいるかなと思いま す。そういう変化の激しい状況の中で、子育てのストレスで暴力を振るいたくな いのに振るっちゃうというところも困難を抱える女性の1つなのかなというふう に思いますので、今の目標を全部リセットしてしまうのではなくて、いい意味で 繋げて、「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」にも繋げていくとい うのも大事なのかなと思います。先ほどは教育の話で、我々経済界では管理職や 職員の教育という話があるのですが、最近よく流行っているのはアンガーマネジ メントです。自分の怒りをいかに抑えていく、職場社会や地域社会、夫婦、家庭 社会もそうですけれども、非常に大事なことかなと実感も含めて思います。その

	親子関係に関しても小さい頃からアンガーマネジメントの教育を受けているかも
	関わってくる。自分の怒りやストレスを抑えて、暴力まで至らないということに
	繋がるのかなと思いますので、企業社会も家庭社会も学校社会も似たような人間
	関係ですので、怒りを自分の中で収めていくみたいな教育も取り入れたらいいの
	かなというふうに思います。
松田会長	ありがとうございます。
	他にいかがでしょうか。
	はい、どうぞ。山本さん。
山本委員	基本目標4の誰もが安心して暮らせるまちづくり、6ページのところですけれ
	ど、令和3年度からの取組実績のところの最初、1つ目のリプロダクティブ・へ
	ルス/ライツに関する情報提供、入手困難な方へは生理用品の無償配布を行った
	とか、生理用品の市施設への無償配置を実施とあるのですけれど、生理用品を設
	置する、無償で配布するのはすごくいいことだと思います。ただ生理への対策
	は、生理用品の配布だけではない気がしていて、それこそピルとかホルモン剤と
	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー
	   的な支援が必要な人が一部いるかもしれないと考えたら、1か月とか1週間急に
	   入手可能な状態になりましたではなくて、ナプキンを与えるコストとどちらが安
	いかは分からないですけれど、選択肢の一つとしてそういう薬とかも入れてもい
	   いのではないのかなと思います。いろんな選択肢を教えてあげることも、一つ大
	事なことなのではないかなと思っています。皆さんが先ほどおっしゃられていた
	教育の場面でも、生理のことはすごく大事なことだと思っていて、生理って一人
	一人重さとかが違うものだから、特に男性には理解してもらいにくいところがあ
	ると思いますが、そういうところも教育で最初に教えてもらっていたら、男性の
	認識も変わってくるかなと思っています。また、女性のキャリア開発事業という
	のも、男女合同1つのクラスで授業を聞くのがいいと思っています。私の小学
	校、中学校の時は、男の子のクラスと女の子のクラスに分かれて説明を聞いてい
	て、それが私としては違和感がありました。私は女性だから女性について教えま
	すが、きっと男性には男性の問題があって、それを知らないまま生きていくのも
	ちょっとどうかなと思っています。女性の話に戻すと、私が女子高に行っていた
	時に子宮頸がんや生理のことについて授業をしてもらえる機会があって、その時
	にいろいろ知れたのですけれど、妹が公立の共学の学校に行っていて、そういう
	話を知らずに生きてきていて、私がそういう話をしてもあんまりこういう所で言
	う話じゃないからみたいな意識があって、別に普通に話してもいいことなのでは
	ないかなとずっと違和感はありました。
松田会長	
	どなたか、何かコメントとかありますか。
武田委員	今のお話は小学校で初めて生理の話や精通の話をするのですけれど、今おっ
	しゃられたように、一緒にするべきだなとすごく思います。一緒にはまだできて
	いないところがあるのです。一緒にする望ましい指導の仕方というのを、例えば
	研究して開発するというのも一つ、何か目標に入れることができるかなと。

	どうしても先生方がいろんな教科のことを全部網羅しないといけないですか
	ら、その中のほんの一部になっているのですよね。でも生きていく上でものすご
	く大事なことなので、提言という形で、例えば市教委の方にも投げかけて、男女
	共習、同時指導みたいなプログラムの開発のために、ちょっとお金出しますよと
	かいう形で、1回言って投げかけていただいてもいいのかなと思います。例えば
	大学の先生とか、そういうことに詳しい方に教育してもらってとか。生理用品の
	開発とか販売している会社の方でものすごくいい資料があって、養護教諭とこれ
	を使ってうまく指導しましょうというような話をしたことがあるのですけれど、
	その時でもやはり女子は女子、男子は男子ということで別で、なにか共習できる
	ようなものが一つあったらいいなというのを思いました。
松田会長	ありがとうございます。
	様々な視点からたくさんの御意見ありがとうございました。
	それでは、そろそろ時間がございますので、最後に案件3、その他について、
	事務局から説明をお願いしたいと思います。
事務局	それでは、案件3、その他としまして、今後のスケジュールについてお伝えさ
	せていただきます。
	本日以降に御意見をいただける場合は、3月 31 日、月曜日までにお願いいた
	します。お電話でも結構ですが、メールやファクスの場合は事前にお送りしてお
	ります委員意見記入用紙がございますので、こちらをご使用ください。
	この後、いただいた御意見を踏まえ、事務局において、男女共同参画計画の素
	案の作成を進めてまいります。
	次回の審議会は、8月頃を予定しております。改めて日程調整のご照会をさせ
	ていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。
	以上です。
松田会長	ただいまの御報告について、何か御質問ありませんでしょうか。
	本日は御出席いただいている委員の皆様、全員から御意見いただきました。非
	常にいい会だったと思います。
	これで予定の案件を全て終了いたしました。
	本日は貴重な御意見、どうもありがとうございました。
	それでは、令和6年度第2回枚方市男女共同参画推進審議会を閉会といたしま
	す。本日はお疲れさまでした。